

文芸

俳句

籾田や轍の跡の水たまり
伊藤 敬子

新米の一粒一粒感謝なり
今関満喜子

新米の差出人は代替り
魚地 照子

芋堀りの手と手が踊る園児かな
加瀬 俊昭

かわいい子に褒められ買う冬帽子
川島 通則

まほろばの埴輪の里の秋祭
向後 寛

十三夜爪弾く琴の久しけり
越川せつ子

籾田に白鷺の群ミーテング
小松 藤男

つくつくの風ののりくる哀れかな
佐瀬 輝夫

秋深しなにか忘れているやうな
椎名万里子

物忘れしても息災秋深む
鈴木とし子

掛けぶとん出して安らぐ夜となり
土屋美枝子

竜神峽恋しや里の赤とんぼ
土屋 義昭

山鳩の鳴けば晴るるや秋の空
戸村 静華

秋深き新たなレシピ検索す
西崎さち子

秋櫻かすかな風を捉へけり
早川 勇

引く波の音の静けさ秋の海
藤田 雅夫

短歌

道の辺の草の勢い衰へて

秋は日ごとに深みゆくなり
越川 義則

晩秋のなぜか切なき野の匂い
遠き日をよぶ団欒の夜
高梨 キヨ

ゆつくりと我に合せて歩行する
猫の仕草に話しかけたり
内藤 くに

独り居の夜更けに聞こえる虫の声
蟋蟀・鈴虫聞きわけありたり
鈴木まさ子

今時はほとんどスマホの電車内
青年一人本を読みみつ
田崎 尚美

唾液マッサージなしるる朝ラジオより
金時芋のホクホクを言ふ
青木 秀子

新栗を小さきざるにやと剥き
夕餉の支度始めんと立つ
浅野 榮子

雨あがり刈田の間の一所
溜まる水面に月影ゆるる
芹川 初子

秋風は白粉花を揉みながら
匂ひたたせて吹きすぎゆきぬ
押尾 輝子

ひつじ穂となりし田の面を照らしある
秋の陽射しは光やはらかに
西山満里子

新しき金次郎像は座りいて
歩きスマホの禁止教える
椎名美枝子

倒れたる稲穂をみつめ老夫婦
腕組みしまましばし動かず
加瀬 弘子

忠敬の生誕の地に測量器
持ちたる像が空を指さす
水須 俊

笑はれて笑はれて強くなると言う
太宰の言葉の遠くなりたり
島田ますみ

朝六時はや釣人は川の面を
見詰め続けて微動だにせず
斎藤つね子

作品展

◎町民会館ミニギャラリー
12月 俳句会カトレア会
1月 水墨画クラブ

◎文化会館ロビー展
12月 パンの花クラブ
1月 横芝写真クラブ

◎銚子商工信用組合展
12月 横芝写真クラブ
1月 華舟会



消費生活 なび NO.80

詐欺的な投資勧誘

トラブルに注意!

海外に所在する業者が、金融商品取引法に基づく登録を受けずに国内の消費者に対して投資勧誘を行い、トラブルになっているケースが目立っています。

投資勧誘を受けた場合は、契約するつもりが無ければきっぱりと断りましょう。

また、金融商品取引業の登録業者については、金融庁ホームページ (<http://www.fsa.go.jp/menkyo/menkyo.html>) の「免許・許可・登録を受けている業者一覧」で確認できます。

問消費生活相談室 ☎84-1233

※お掛け間違いのないようお願いします。

